

MIMOPIA

中村学園女子中学校・高等学校図書室情報 No.222



表紙イラスト/高校2年 樋口 麗奈

■目次

読書のススメ・・・・・・・・・・	1	新着案内・・・・・・・・・・	2
特集・・・・・・・・・・	3	インフォメーション・・・・・・・・	6

読書のススメ。



先生方に、お薦めの本や思い出の本、読書に関するいろいろなエピソードなどを語っていただきます。(敬称略)

数学科 堺亮一

『数学の言葉で世界を見たら』

大栗 博司 著

数学を勉強していて、「これが何の役に立つのだろう」と感じたことはないでしょうか。学校の授業では、「数学が現実でどのように応用されているか」、「数学がどのように歴史的に発展してきたか」などといったことを学ぶ機会は、それほど多くないと思います。

私が「素数」に関する授業をするときによく話すのですが、「クレジットカードなどを安心して使えるのは素数のおかげ」です。私たちがAmazonなどで買い物をするとき、クレジットカード番号を入力し、ネット回線を使って送信します。しかし、もし途中で番号を盗み取られたらと思うと怖くありませんか？いわゆるハッキングです。それを防止しているものが、いわゆる

「暗号技術」です。現在のコンピュータでは、非常に大きな数を素因数分解するには「ビッグバンから現代まで」の時間をかけても困難といわれています。232桁の数の素因数分解でさえ、2年かかるそうです。私たちの個人情報を守ってくれているのは、実は「素因数分解」だったのですね。

私が前職である公務員を辞め、教職に就くことを決めるとき、「数学の問題を解ける、教えることができるだけでなく、数学の歴史や実用についても見識がある教員になりたい」と思いました。そのときに会ったのがこの本です。この本は、数学が「古代バビロニアやギリシャの時代」から「現代」に至るまでどのように発展し、数学がどう実践的に応用されているかということを知りやすく著述しています。数式が少なく、すらすら読み進めることができるといえるのが特徴です。

「(1)×(1)はなぜ1になるか」、「銀行預金、倍になるのに何年かかるか」、「どうしても出てくる2乗して1になる数」……、数学が好きな生徒だけでなく、数学が好きじゃない生徒や数学に必要性を感じない生徒にも読んでほしい本です。ぜひ、一度手にとって読んでみてください。

『数学の言葉で世界を見たら』

大栗 博司 著 幻冬舎

図書室に
あります！



「紙の本」派？「電子書籍」派？

タイトルの通り、近頃「読書」にはいろいろな形があります。私が中高生の時には紙の書籍が当たり前で、中学生の頃は図書館の本を読み漁り、高校生になると読みたいときに読めないことが嫌で（図書館だと返却しなくてはいけないから）、よく薬院駅にある本屋に入り浸り、文庫本を買っていました。

近年はそもそも、若者の読書離れが進んでいるとよく言われます。だから、私一人としてはまずは「活字を読む」ということをして欲しいと思うので、電子書籍でも紙の本でもいいかな…とは思ってしまいました。でも本当に本当の欲を言えば、「本は紙の本で読んでほしい……！」という気持ちです。続きが気になつて、逸（はや）る気持ちを抑えながら自分の指で、一枚ずつページをめくる…あの感覚をみなさんに味わっ

て欲しいと思います。

2019年12月24日読売新聞朝刊にこんな記事がありました。

「読書をする際、スマートフォンやパソコンなどの電子書籍よりも紙の本を読むの方が、何事にも進んで取り組む意欲や、多面的に考える能力が高くなりやすい……。そんな調査結果を国立青少年教育振興機構が発表した。」

「紙は電子よりも本の全体像を把握したり、…（中略）集中力を維持でき、記憶に留めやすく、じっくり考えるには紙の方が適している」

こうして見ると紙の本で読書をするほうが様々な面において、効果的だということがわかります。今はスタンプひとつ送ってしまう感覚が伝わったり、会話が成立してしまったり、便利といえば便利な世の中です。でも、せっかく「日本語」を使う日本で暮らしているのです

から、言葉をたくさん知り、言葉を操ることができるようになってください。日本語は世界でも難しい言語の上位に入ると言われています。勉強しよう！と思わなくても自然と身に付けられる環境にいるのですから、その環境を大いに生かしていきたいましよう。

本を読むこと。それはきっと皆さんの人生をより美しいものにしてくれます。本を読むことで知らなかった言葉や表現をたくさん知ってください。そして日々の生活で「わかる」「ことを増やしてください。難しい本でなくて大丈夫。恋愛ものでも、感動ものでも、ホラーでも……まずは興味のあるものから手にとることから始めてみましょう。」



新着案内

〜今読んでほしい本〜

『少年と犬』
馳 星周/著
文藝春秋

1匹の犬と、犬に出会う人間の物語。馳 星周、7回のノミネートでの直木賞受賞！

『日本製』
三浦 春馬/著
ワニブックス

三浦春馬が約4年間かけて訪れた47都道府県「日本製」旅。旅の続きはないんですね。

『世界はもっと！
ほしいモノ
にあふれてる』
KADOKAWA

こちら、三浦春馬でおなじみの、「せかほし」の本。人生すべてを楽しみたいあなたに。お手本がいっぱいです。

『画家とモデル
宿命の出会い』
中野 京子/著
新潮社

「ぶら美」で中野京子さんが「テレビで出しちゃダメと言われた」と語った「あの絵」が載っている。「あの絵」だけではない、背景や物語を感じてほしい。

「夏への扉」

三年二組 米澤 真衣

私は今回、夏が題名に入った作品『夏への扉』という小説を紹介します。

この小説は『バック・トゥ・ザ・フューチャー』のアイデアの元となったSF小説です。

主人公ダンの愛猫ピートが冬になるときまって夏の扉を探しはじめる。そしてダンもまた夏への扉を探していた。最愛の恋人に裏切られ命の次に大切な発明までだましとられたダンは、ピートとともに冷凍睡眠で30年の眠りにつく決心をし、西暦二〇〇〇年に目覚める…。

という話で、怒涛の展開に引き込まれます。

山崎賢人さん主演で二〇二一年に映画化されるそうです。

ぜひ、読んでみてください。

『夏への扉』

ロバート・A・ハインライン／著 早川書房

図書室に
あります！



夏 集 特

今回のテーマは“夏”
楽しいことが盛りだくさんのはずなのに、今年の夏は短い！
あっという間に終わってしまう夏。あなたは何をしますか。

「花火」

三年三組 吉村 優花

夏の風物詩である「花火」は、毎年日本各地で打ち上げられ、同時に多くの花火大会が開催されています。

有名なものとしては、秋田の大曲花火大会や新潟の長岡花火大会などでしょうか。福岡でも、筑後川や百道浜で行われる花火が多くの人に楽しまれています。しかし、今年はその多くが新型コロナウイルスの影響で中止、もしくは延期となっていました。

夏の花火を楽しむにしていたのに残念。そう感じている人は少なくないのでないかと思えます。そこで今回は、日本の美しい花火が楽しめる本を二冊ご紹介したいと思います。

一冊目は、『眺望絶佳の打ち上げ花火』。この本には美しい打ち上げ花火の写真だけでなく、花火玉の仕

組みや花火の種類などについての説明もあるので、花火をより楽しむことができます。

二冊目は、『花火-HANABARI』。この本には日本全国で打ちあがる花火の様子を写した写真が収録されています。また、花火とともに、それを楽しむ人々や地域の風景が写りこんでいる写真が多く、花火と私たち日本人との密接な関係を感じるすることができます。

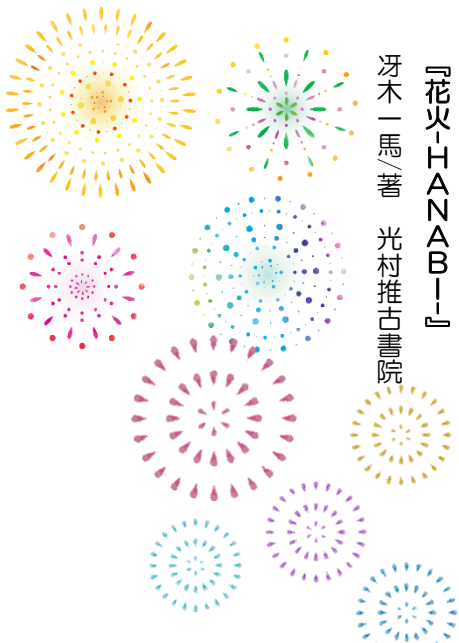
今回紹介した二冊以外にも、花火に関する書籍は多くあります。興味がある人はぜひ手にとってみてください。

『眺望絶佳の打ち上げ花火』

金武 武／著 玄光社

『花火-HANABARI』

牙木一馬／著 光村推古書院



「冷やし中華」



二年十一組 仲田 光里

梅雨も上がり、蒸し暑さが続いています。みなさんは暑い時期の食べ物といえば何を思い浮かべますか。かき氷、流しそうめん…想像しただけで暑さが少しやわらぐような気がしますね。

今回は私の夏のお気に入りの食べ物、冷たくて、体の中から暑さが消えてしまいそうな冷やし中華について紹介したいと思います。

およそ八十五年前に冷やし中華は日本で生まれました。

冷たい麺料理は、茹であがった麺を水で素早く締めなければなりません。

おいしく冷たい水が手に入る日本では、ざるそばなどが昔から作られていました。そこで中華そばも同じように冷やしてみてもどうか、という考えから生まれたそうです。

しかし中華そばは、水洗いすると

すぐに固まってしまう。

そこで、茹でたキャベツや塩もみしたキュウリ、トマトなどに酢を加え、植物油をまぶす工夫をすることによって、ツルツルの冷たい、冷やし中華が誕生しました。今では、卵やハム、キュウリなどが主な具ですが、自分の好きな具を見つければいいかもしれません。

参考資料 * 蒲川 祐子「冷やし中華はやっぱり「日本料理」だった 蒸し暑さをしのいで水が冷たい「冷やし中華」 2011/08/12 (食べログ所収) <http://foodismedia.jp/search/>

『鴨川食堂おまかせ』 柏井 壽/著 小学館

京都東本願寺近くにある看板のない鴨川食堂。板前の父、探偵の娘が依頼人の思い出の「食」を探し出す。冷やし中華がどこに出てくるかは秘密。

お・ま・け
で紹介



『まぼろしハワイ』

二年九組 北村 珠々奈

今年の夏休みは約2週間しかありません…。

みなさんはこの2週間の間に何をしますか？

今はコロナウイルスも流行っているということで、おうちで読書を読みますか？

2週間で長い長い長編小説を読み切るのは私自身苦手なので今回は少し短い短編小説を1冊ご紹介します。

紹介する本は、よしもとばなさんの『まぼろしハワイ』です。

夏といえば海。海といえばハワイ。そんな感じでハワイを舞台にした物語が3本入っています。

1つめは「まぼろしハワイ」。2つめは「姉さんと僕」。3つめは「銀の月の下で」です。どのお話も素敵で癒されます。

また、ハワイという場所の不思議

さを感じます。

今年は海外旅行には行けませんが、この本を読んでいつか行く想像をするのも楽しいかもしれません。

『まぼろしハワイ』

よしもとばなな/著 幻冬舎文庫

図書室に
あります！

『ハワイ72時間 3日
間で楽しむハワイ!』
JTBパブリッシング

こちらも想像系。来る日のために、準備しておこう！

お・ま・け
で紹介



「夏のちやひょうじだは知識」

二年十組 稲田 奈都

かき氷のシロップ「イチゴ、レモン、メロンの味は全部同じ!!」
違いは着色料と香料だけなんです。
見た目と香りによる、私たちの脳の錯覚です。

そうめんとひやむぎの違い

よく夏に食べられる食べ物として有名なそうめんとひやむぎですが、実はめんの太さでそうめんかひやむぎかというのが決まっています。

バーベキューの煙が目にしめるのはなぜ?

夏によく行うバーベキューから出る煙が目にしめるのは、非常に小さい固形物が入っているからなんです。
ただし痛みは一時的なもので、痛みと同時に分泌される涙が、ごみを流してくれます。
心配不要!

出典 * Exeall.info (夏の雑学 27 選)
<https://exeall.info/summer-zatsugaku/20200801>



お・ま・け
で紹介

『青空バーベキュー』
野中 柊/作 長崎 訓子/絵
理論社
パンダのボンボン
が超絶かわいい

『一日一氷』
365日のかき氷
原田 泉/著 ぴあ
ゴーラー（氷好きの食べる方
専門の人）の原田さん。
氷への愛に圧倒されます。

図書室に
あります!

「夏祭り」

二年十組 松永 芽生

夏祭りに参加したい。
でも今年は残念ながら...。
いよいよ本格的な夏がやってきました。
日本の夏に欠かせないのが夏祭りです。

では、なぜ夏祭りが行われるようになったのでしょうか。
その理由は、病気や災害をもたらす悪い霊を追い払うという意味があったそうです。

昔は今ほど生活の環境や、医療技術がよくなかったため、梅雨から夏にかけて、病気が大流行する時期だったのです。
そこで神様が乗ったお神輿をかついで町中を歩き、神様に町を清めてもらおうとしたのです。

また、悪い霊は賑やかなものについていくと考えられていたので、笛や太鼓が演奏されるようになりました。

平安時代から一〇〇〇年以上もの長い歴史を持つ日本の夏祭りは日本人だけではなく外国人にも人気のある行事です。

今年はさまざまな夏祭りが中止になって行けないですが、来年こそは世界中の人に愛され親しまれている夏祭りに行ってみましょう。

出典

* 1 日本の年中行事 2020/7/28

(<https://nihon-nenchugyoji.com/natsumatsuri/>)

* 2 msn ニュース 2016/8/10

「1000年以上の日本の夏祭りの魅力とは」

いずれも
図書室に
あります!

『へちま祭りのナンタツ』
かひろみ みなこ著 遊泳舎

1000年以上の歴史を誇るお祭り。ものすごく詳しく書かれているが、絵がかわいくて、すんなり読める。

『博多豚骨ラーメンズ』
木崎 ちあき著
ネディアワークス

こちらは770年あまりの歴史、といわれる我らが山笠がでてくる。読みな!

お・ま・け
で紹介



Information インフォメーション

■ ポップ展示

現、高校二年生が一年時の国語の時間に制作した、おすすめ本のポップと実際の本を展示。本も面白いけれど、ポップも見ごたえあり。

(図書室入口入ってすぐ右側に展示)



■ ナツイチ本

皆さんにお配りしたナツイチの小冊子。それに載っていた本を集めました。ラノベあり、古典あり。短篇、長編あり。初めての本を手にとってみるもよし、昔読んだことのある本でも、新しい発見や、気づきがあるかも



(図書室入口入って正面に展示)

■ 芥川賞・直木賞受賞作決定!

受賞作は次の通りです。

👑 芥川賞

『首里の馬』 高山羽根子 著 新潮社

『破局』 遠野 遙 著 河出書房新社

👑 直木賞

『少年と犬』 馳 周 著 文藝春秋社

(雑誌コーナー向かい側/新着コーナーに展示)



※貸出中の本は予約を受け付けます

■ THE WALL

STREET JOURNAL

英字新聞 THE WALL STREET JOURNAL が入りました。英語はもちろん、国語・社会…すべての分野において“使える”媒体です。きっと、生きた世界をのぞく窓の1つになるはず。Webではない、紙の新聞を四感で味わってください。



(カウンター前、新聞閲覧コーナー) 毎日 MANAHI WEEKLY (毎週木曜日)

候補作品もあります!

■ 図書室で読める雑誌 ■

《政治・経済・社会》

AERA
ナショナルジオグラフィック
日経 WOMAN
News がわかる
ジュニアエラ

《料理・食》

うかたま
栄養と料理
NHK きょうの料理
NHK きょうの料理ビギナーズ
オレンジページ
切抜き速報 食と生活

《スポーツ・芸能・芸術》

Sports Graphic Number
MOE
芸術新潮
SCREEN
音楽と人
ダ・ヴィンチ

たまにはのんびり
どうかしら。

《生活・ファッション》

NHK きょうの健康
暮らしの手帖
天然生活
NHK すてきにハンドメイド
VOGUE
装苑

《語学・受験・文学》

ENGLISH JOURNAL
螢雪時代
留学ジャーナル
文藝春秋

■たまには、のんびり雑誌でも。紹介したのは一部。文芸書の新刊案内、フリーペーパーなどを含めると40タイトル以上になります。6カ月間過ぎると譲渡できるものもあります。気になる雑誌があればカウンターまで!



君も、図書部で活動してみないか！？

◎毎週火曜日昼休み 図書室にて活動中！主な活動

「ミモピア」作成、図書室内の展示コーナー作り、
他校とのビブリオバトル読書交流会、
選書、文化祭ではブックカフェ などなど
他の部との兼部もOK！

募
集



ミモピア表紙作画サポーター募集！



ミモピアの表紙の絵を描いてくれる人を募集しています。

アナログ・デジタルどちらでもOK

1回だけ…でもOK

毎回の部活動日に参加できなくてもOK

他の部との兼部もOK

主な刊行時期（予定）…10月、12月、3月

編集後記

某〇〇隊の勧誘のような、見出しになってしまいました（上段の部員募集の記事）。それほど新入部員が欲しい！図書部です。何とか、この春2年生が4名入ってくれましたが、歴史ある図書部をここで終わらせてはいけない！水仙祭を未経験の4人メインで乗り切るには、ハードルが高すぎる！ということで、“またか”の部員募集です。中学生大歓迎！もちろん高校生も！「もしもし、アナタ、センスよさそうね♡、図書部で活動してみない♡？」と突然声をかけることもあるかもです。迷っているそのあなた。やらずに後悔するより、やって後悔する方が絶対いい。（後悔はさせません…！！）

最後に、お忙しい中原稿をお寄せいただいた堺先生、太田先生、そして表紙のイラストを描いてくださった樋口さん、ご協力に感謝いたします。

どうもありがとうございました。